

平成 22 年度 事業報告書

ヘルパーステーション大慈

1. <<法人ヴィジョン>>

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. <<活動方針>>

介護を提供するプロとしての意識を十分に持ち、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ、自立した“安心・安全な生活”を営むことができる生活全般にわたる援助を行う。関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの機関との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

3. <<目標>>

◎ケアプランの見直し

①介護報酬を 100%取れる体制作りを行う。

→介護報酬は入院・外泊を除くと 100%取れている。ケアプランを見直し、個別ケアを重視し、支援にあたったが、支援員の退職や体調不良による長期休暇などもあり、職員配置が難しい時期があった。職員一丸となって協力し合えたこと、新しい職員を迎えることで乗り切ることが出来た。

②良質な排泄・入浴サービスの提供を行う。

→途中段階ではあるがゲストの ADL を上げるような取り組みが出来た様にもなった。全体的には職員も若く、介護経験も浅いと思われるが知識や技術を共有し合える体制作りが取れて来つつある。来期に向け、更に技術力を高め良質な個別ケアのサービスを行っていききたい。

4. <<総括>>

ケアカンファレンスは定期に行い、出席頂けるご家族とは充分話合いができたと思われる。ご家族にもゲストが日常生活をどのように過ごしておられるかご理解頂ける機会にもなっている。ゲストの思いや死期をどうされたいかなども話し合うことも出来た。ゲストの ADL に合わせた支援を行なえたと思うが、来期には自立に向けて ADL の向上、楽しみを持って頂ける支援に結びつけていきたい。又、ゲストの心身の変化を踏まえ、ご家族への連絡・ゲストとの話し合いなど迅速、且つ細かく行っていきたい。